

&

5カ国へ留学 53人がチャレンジ

2・3面

外国語スピーチコンテストで大活躍 4面

ロシア語全員入賞、中国語優れた表現賞、韓国語は最優秀賞

学業・課外活動の優秀学生に奨学金 5面

成績優秀者には30万円授与

Photo:長谷川美咲

CONTENTS

2・3面

派遣留学・夏期セミナーの壮行会
8月から出発 異文化に学び成長

5面

「新しい友達できた」新入生歓迎会
平成25年度入試日程概要一覧
湧源・編集後記に代えて

6・7面

サークル紹介Q&A(新企画)
オープンキャンパス案内
私の研究テーマ
教員の活動

8面

NUIS Music Festa盛り上がる
学内スポーツ大会10種目で快汗
卒業生の便り

派遣留学

夏期セミナー

5カ国へ53人が挑戦

成長を誓う

壮行パーティーで激励 8月から出発

派遣留学（情報文化学科）と海外夏期セミナー（情報文化学科と情報システム学科）に挑戦し、間もなく出発する学生たちの壮行パーティーが、6月27日に本校みずき野キャンパスの国際交流センターで開かれました。

今年度は夏期セミナーのカナダへ14人（アルバータ大学）、派遣留学のアメリカへ14人（ノースウェスト・ミズーリ州立大学）、韓国へ7人（慶熙大学）、中国へ7人（連邦極東大学）、ロシアへ7人（連邦極東大学）、中国へ7人（北京師範大学）と合計53人が異文化に飛び込んで学ぶ海外留学

に挑戦。8月5日に出発するカナダを先頭に5カ国へ旅立ちます。

恒例の壮行パーティーでは、平山征夫学長が5コースの代表に奨学金証書を贈りながら激励。各コースの代表が意気込みを披露して応えました。また学生たちは、学長はじめ越智敏夫学部長や関係教職員と和やかにテーブルを囲み、それぞれが留学の期待と不安などを率直に語り合うなどして、お互いの成長を誓い合いました。

カナダへ



情報システム学科
青柳 政史

海外のシステムを学ぶ貴重な機会に

私は今まで日本から離れたことはなく、周囲はみな日本人という環境で過ごしてきました。なので、グローバル社会といわれても、あまり実感が湧きませんでした。島国で閉鎖的な日本と異なり、カナダにはさまざまな人種の人たちが住んでいます。彼らの生活様式は日本のそれとは

全く違うものです。日本に住んでいては決して味わえないような、多くの体験が、私たちを待つていることでしょう。異文化交流で得られるものは、その国の文化だけではありません。他国と比べることにより、日本が世界でどのようない位置に置かれていいのかを、私たちに教えてくれます。

さらに、私たちはシステム学科として、海外の情報システムに触れる機会があります。

韓国へ



情報文化学科
市村 文美

今こそできること 交流し視野を広げ

私は今まで日本から離れたことはなく、周囲はみな日本人といふ環境で過ごしてきました。なので、グローバル社会といわれるでも、あまり実感が湧きませんでした。島国で閉鎖的な日本と異なり、カナダにはさまざまな人種の人たちが住んでいます。彼らの生活様式は日本のそれとは

全く違うものです。日本に住んでいては決して味わえないような、多くの体験が、私たちを待つていることでしょう。

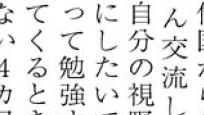
さらに、私たちはシステム学科として、海外の情報システムに触れる機会があります。ソフトウェア開発の現場を見学し、開発プロジェクトの講義が行われます。英語での授業は心配ですが、海外の情報システムを学べる機会は貴重なので、精いっぱい努力

しようとっています。

住み慣れた日本を離れることに不安がないといえば嘘になりますが、同志12人力を合

ることだ」と思い、参加す

韓国へ



情報文化学科
市村 文美

今こそできること 交流し視野を広げ

私は今まで日本から離れたことはなく、周囲はみな日本人といふ環境で過ごしてきました。なので、グローバル社会といわれるでも、あまり実感が湧きませんでした。島国で閉鎖的な日本と異なり、カナダにはさまざまな人種の人たちが住んでいます。彼らの生活様式は日本のそれとは

全く違うものです。日本に住んでいては決して味わえないような、多くの体験が、私たちを待つていることでしょう。

さらに、私たちはシステム学科として、海外の情報システムに触れる機会があります。ソフトウェア開発の現場を見学し、開発プロジェクトの講義が行われます。英語での授業は心配ですが、海外の情報システムを学べる機会は貴重なので、精いっぱい努力

しようとっています。

住み慣れた日本を離れることに不安がないといえば嘘になりますが、同志12人力を合

ることだ」と思い、参加す

海外留学・セミナー参加学生の累計

| | 中国 | 韓国 | ロシア | アメリカ | カナダ | 計 |
|----------|------|-----|-----|------|-----|------|
| 平成 7年度 | 29 | 14 | 7 | 13 | | 63 |
| 平成 8年度 | 15 | 13 | 20 | 17 | | 65 |
| 平成 9年度 | 31 | | | | | 31 |
| 平成 10年度 | | | 7 | 14 | | 21 |
| 以上 海外研修計 | 75 | 27 | 34 | 44 | | 180人 |
| 平成12年度 | 30 | | | | | 20 |
| 平成13年度 | 15 | 12 | 6 | 17 | 14 | 64 |
| 平成14年度 | 17 | 9 | 3 | 13 | 17 | 59 |
| 平成15年度 | (中止) | 4 | 1 | 11 | 6 | 22 |
| 平成16年度 | 31 | 7 | 2 | 13 | 8 | 61 |
| 平成17年度 | 18 | 13 | 5 | 12 | 22 | 70 |
| 平成18年度 | 9 | 5 | 0 | 7 | 3 | 24 |
| 平成19年度 | 16 | 10 | 12 | 25 | 9 | 72 |
| 平成20年度 | 9 | 7 | 9 | 12 | 13 | 50 |
| 平成21年度 | 6 | 4 | 11 | 13 | 12 | 46 |
| 平成22年度 | 10 | 11 | 7 | 16 | 9 | 53 |
| 平成23年度 | 18 | 13 | 7 | 13 | 4 | 55 |
| 平成24年度 | 13 | 7 | 7 | 14 | 12 | 53 |
| 計 | 192 | 102 | 70 | 166 | 149 | 679 |
| 合計 | 267 | 129 | 104 | 210 | 149 | 859 |

異文化に飛び込み学ぶ



A black and white photograph showing a group of approximately ten people in a formal setting, likely a conference or event. They are dressed in business attire, with men in suits and ties and women in blouses and jackets. The scene is centered around a table covered with a white cloth, which holds several plates of food, glasses, and a bottle of beer. In the foreground, a woman in a white blouse and dark trousers is reaching out towards the food. Another woman to her right is holding a small white plate. A man in a suit stands behind the table, looking down at it. The background shows more people standing and talking, creating a social atmosphere.

留学に先立ち、現地へ行つたら何をしたいかという思いは、参加者全員が持つてゐると思います。言語力の向上は言うまでもありませんが、アメリカコースでいえば「ハンバーガーが食べたい」や「ショッピングがしたい」または「友達をたくさんつくりたい」などと、さまざまなことが挙げられると思います。

現地へ行つて体験することは、日本では体験できない新しい鮮なものがたくさんあるのは、自分とは違う異文化の中には飛び込み、多くのことを自分のものにして帰つてきたのです。そのために自分ができることは全力で成し遂げていきます。

「絶対に後悔だけはしない。そのため自分ができることは全力で成し遂げます。

大家好！皆さんこんにちわ。留学で大切なのは、挑戦です。目標や目的があつたとしても、挑戦をする姿勢がなければ、意味がありません。中国に行く仲間全員に、「中国へ行つたら、何がやつてみたい？目標はある？」と、いう質問を投げかけてみました。食、習慣などの異文化を直に体験することや、外国人とコミュニケーションをとり友だちをつくつたり、異文化理解をしてみたり、歴史や文化を現地で学ぶことも挙げらされました。そして何よりも一

支えてくださっている皆さま、先輩方に感謝の気持ちを伝えたいです。そして、惜しみなくお金を出し、留学を後押ししてくれた家族にも本当に感謝しています。この大きなチャンスを無駄にすることなく、帰ってきたときに、成長した姿をお見せできれば、と思います。他の留学先へ行く皆さんも、4カ月後に、カナダへ行く方は5週間後に、お互い成長した姿で会えるように、頑張りましょう！また会う日まで。

私の留学での目標は、日本語が話せなくなるくらい、ロシア語を話せるようになつて帰つてくることです。

4ヶ月は長いようで短い期間です。恵まれた環境で刺激を受けながら、悔いのないよう学習に励みたいです。またウラジオストクでの生活は、日本では味わえない異文化交流の機会であり、全てが初めての体験になります。今のような受け身の姿勢ではなく、そのチャンスを逃してしまって、自分から積極的にいろいろな国の人と交流し、

理解し回答していました。留学に行くとこんなにもレベルが違うのかと、私はとても衝撃を受けました。また、一般の部の出場者の見事なスピーチと質疑応答にも強い衝撃を受けました。そして、私も先生方のように、すぐに聞き取つて理解し、話せるようになりたい、話せる自信をつけます。帰つてこようと決めました。

たくさんの経験をしてみたい
です。
不安なこともありますが、
それ以上に私はウラジオスト
クでの学習、生活が楽しみで
す。留学に行かせてもらえる
ことに感謝し、留学がこれから
らの学習の原動力となるよう
う、仲間と切磋琢磨し、楽し
い留学生生活を送りたいです。

え合つて成長していければ：
「やつてみたいなあ」と思わ
せてくれるものばかりでし
た。これらのこととを実現する
ためにも、挑戦するという姿
勢は本当に大切ですし、忘れ
ずにはいようと思います。また、
実際に現地に行つて見えて
くる目標もたくさんあります。
だから、常に好奇心、探究心
を忘れずに生活したいです。
最後に、このプログラム

ロシアへ



情報文化学科
荒木 巴花

理解し回答していました。留学に行くとこんなにもレベルが違うのかと、私はとても衝

たくさん経験をしてみたい
です。

る」この言葉をアメリカコーエンスだけでなく、韓国、中国、ロシア、カナダコレスの人た

番多かったのは、語学力のUPです。皆自信を持てるようになりたいという気持ちが

ありがとうございます。

今年度の新入生同士の交流や教職員との親睦を深める、新入生歓迎会が市内の新潟東映ホテルで4月18日に開催されました。新入生300人のうち大半の290人という高い参加率で大いに盛り上がり、始まったばかりの学園生活の夢を語り合いました。

新学期のマーン行事の一つで、新たな学生生活を送るにあたって学修および課外活動への意欲を増進させ、授業欠席を抑止し、休学および退学者を減少させるなどのさまざまなメリットが期待されます。

まずは平山征夫学長はじめ越智敏夫学部長、榎木公一学生部長らが挨拶して新入生を激励。合唱部、吹奏楽部、アカペラサークルj oin、演劇同好会などのサークルが楽しい課外活動

26人に表彰奨学金

学業に励み 課外活動に活躍

優秀な学生を表彰していつそうの励みとする、本学の表彰奨学金の授与式が6月27日に行われ、平山学長から26人に証書と奨学金が贈られました。

で各30万円、また課外活動で顕著な成績を挙げた功労者4人に10万円、6人に5

トやスポーツ大会で上位入賞するなどして活躍をたたえました。

優秀な学生を表彰
していつそうの励み
とする、本学の表彰
奨学金の授与式が6

科において優秀であつた者が16人（情報文化学科6人、情報システム学科10人）

万円が授与されました。

「新しい友達がたくさんできた！」
ホテルで「新入生歓迎会」盛り上がる



ぶりを披露しました。打ち解けた新入生たちは教職員や先輩学生らとテーブルを囲み、一緒に食事を楽しみました。

平成25年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

*詳細は本学学生募集要項でご確認ください。*出願期間内消印有効。

| 入試区分 | | 募集人員 | | 出願期間 | | 試験日 | | 試験実施教科・科目 | | 合格者発表日 | | 入学手続期間 | | | |
|--------|--------------|------------------|--|------|----------------------------|----------------------------|--|---|---|------------|------------|-------------|------------|--|--|
| 推薦入学試験 | 指定校制 | 情報文化学科 | 20 | 50 | | | | 本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います | | 24年11月22日㈭ | 24年11月22日㈭ | 24年11月22日㈭ | 12月 7日㈮ | | |
| | | 情報システム学科 | 30 | | | | | | | | | | | | |
| | Ⅰ期 | 公募制 (教科成績重視型) | 情報文化学科 | 15 | 45 | 24年11月1日㈭ ~ 11月12日㈮ | 24年11月18日㈯ | 新潟 | 面接・小論文 推薦要件：全体の評定平均値3.8以上または、国語・地理・歴史・公民・数学・理科・外国語(英語)のうち、いずれか1教科の評定平均値が4.5以上であること。 | | | | | | |
| | | | 情報システム学科 | 30 | | | | | 面接・小論文 推薦要件：本学が定めた資格・検定に合格、あるいは成績を修め、かつ全体の評定平均値が3.5以上であること。 ※対象資格・検定は、学生募集要項で確認してください。 | | | | | | |
| | | 公募制 (スポーツ推薦) | 情報文化学科 情報システム学科 | 若干名 | | | | | 面接・小論文・競技実績 ※対象種目は、学生募集要項で確認してください。 | | | | | | |
| | Ⅱ期 | 公募制 (教科成績重視型) | 情報文化学科 | 10 | 15 | 24年12月 3日㈪ ~ 12月18日㈫ | 24年12月22日㈯ | 新潟 | I期・公募制(教科成績重視型)と同様。 | | 24年12月26日㈬ | 24年12月26日㈬ | 24年12月26日㈬ | | |
| | | | 情報システム学科 | 5 | | | | | I期・公募制(資格・検定重視型)と同様。 | | | | 25年 1月11日㈮ | | |
| | 帰国生入学試験 | | 情報文化学科 情報システム学科 | 若干名 | 24年11月 1日㈭ ~ 11月12日㈮ | 24年11月18日㈯ | 新潟 | 面接・小論文 | | 24年11月22日㈭ | 24年11月22日㈭ | 24年11月22日㈭ | | | |
| | 社会人入学試験 | | 情報文化学科 情報システム学科 | 若干名 | | | | 面接・小論文 | | | | 12月 7日㈮ | | | |
| 一般入学試験 | 前期 | 情報文化学科 | 35 | 100 | 25年 1月 7日㈪ ~ 1月25日㈮ | 25年 2月 2日㈯ | 新潟 上越 長岡 | ・国 語：国語総合(現代文)・現代文 ・数 学：数学I・数学II(数学IIは微分・積分を除く) ・外國語：英語I・英語II | | 25年 2月 8日㈮ | 25年 2月 8日㈮ | 25年 2月 8日㈮ | | | |
| | | 情報システム学科 | 65 | | | | | | | | | ~ 2月19日㈯ | | | |
| | 後 期 | 情報文化学科 | 10 | 20 | 25年 2月14日㈭ ~ 3月 1日㈮ | 25年 3月 9日㈯ | 新潟 | 上記3教科の中から2教科または3教科を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用。) | | 25年 3月12日㈰ | 25年 3月12日㈰ | 25年 3月12日㈰ | | | |
| | | 情報システム学科 | 10 | | | | | | | | | ~ 3月21日㈪ | | | |
| | 大学入試センター試験利用 | | 情報文化学科 | 10 | 20 | 25年 1月28日㈪ ~ 2月13日㈭ | 25年1月19日㈯、 20日㈰の大学入試 センター試験を 受験していること | 新潟 | 学科試験を課さず、平成25年度の大学入試センター試験の成績で判定。各学科の利用教科・科目の中から2科目選択。 | | 25年 2月22日㈮ | 25年 2月22日㈮ | 25年 2月22日㈮ | | |
| | 情報システム学科 | 10 | 配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に用いる。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)はリスニングを含む。) ※各学科の利用教科・科目は、学生募集要項で確認してください。 | | | | | | ~ 3月 5日㈫ | | | | | | |

入学時の
授与金

高校長推薦
入学試験合格者

合格後に希望者に対し2月2日「奨学金試験」を実施し、その結果、成績上位者に年間授業料の半額を給付します。

一般入学試験(前期)
受験者

一般入学試験(前期)の試験結果から、上位成績者に年間授業料の半額を給付します。

○入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。TEL025-239-3111 FAX025-239-3690 E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp

（今年4月に新任として奉職し、今回からこの采えある湧源の執筆を担当することになりました。何卒よろしくお願ひ申し上げます）

今回は、新任教員として新鮮な感覚で本学について述べる。

まず、本学をとりまく環境は最高である。自然に囲まれ、しかも大学周囲に遊興施設がないので、勉強する環境として恵まれている。また、授業の課題は多く、学生が遊んでいる暇はない。

次に学生の素直さ・素朴さが私の目を引いた。多くの学生は、都会に比べ教員の指示を素直に聞く。また、素朴さについて感じたことは、例ええば学生を東京の大学のゼミ発表会に連れて行つたときに、学生が先方の教員に手土産を渡し、「こうした機会をいただきありがとうございます」と挨拶したことだつ。先方の教員からは「都会の大学ではこうした学生は皆無だ。新潟国際情報大学の学生はしつかりしている」とお言葉を頂戴した。以前にも、新潟大学の複数の教員から「話をきちんと聞いている」「真面目に取り組んでいる」とお褒めの言葉をいただいたことがあつた。

今後われわれが大切にしていかなければならないのは、こうした本学の良い点を再認識し、このカルチャーを維持していくことであろう。これには、読者皆さまの叱咤激励を賜ることがひとつアプローチであると思う。どうか遠慮なく本学に関してご意見を寄せていただき、本学を支援していただきたい。

湧編 源

編集後記に代えて

入試広報委員会

内田
宣

サークル紹介 Q&A

学内にはスポーツ系が18クラブ、文化系が26クラブの合わせて44のサークルが楽しくアクティブに活動しています。今号からキャブテンなどに活躍ぶりを紹介してもらいます。

- Q. 普段はどこで練習しているのですか。**
—毎週火・木曜日の午後6時から7時45分まで、本校223教室にて、今は全員9人と少ないながらも楽しく練習しています。
- Q. どんな大会やイベントに参加していますか。**
—7月に行われる音楽フェスティバルや10月の紅葉祭などの学
- 吹奏楽部**
- 中林貢一代表（情報文化学科3年）に学内外での演奏活動などを聞きました。



内イベントはもちろん、県内の多くの大学生・高専生が一堂に会して毎年3月に開催される「学生ウイングアンサンブル」にも積極的に参加しています。昨年は長岡リリックホールで開催されました。

レパートリー年15曲以上に

- Q. レパートリーは、得意な曲は。**
—音楽で青春できます！
- Q. あなたにどうて吹奏楽とは。**
—人生の一部です。欠けてはならないものですね。
- Q. 部を一言でアピールしてください。**

催され、8校が参加して華麗な演奏を繰り広げました。地域のイベントなど学外から演奏依頼があれば積極的に出かけています。

—木曜と日曜を除く週5回、体育馆アリーナで練習しています。まずウォーミングアップ、基礎打ち、ノック、パターン練習などをしています。試合が近くなれば、ゲーム練習を多くして試合での実戦感覚を戻すようにしています。月、土曜には県バドミントン協会副会長の飯塚芳英コーチから指導しています。

Q. 最近の活動状況を教えてください。
—木曜と日曜を除く週5回、体育馆アリーナで練習しています。まずウォーミングアップ、基礎打ち、ノック、パターン練習などをしています。試合が近くなれば、ゲーム練習を多くして試合での実戦感覚を戻すようにしています。月、土曜には県バドミントン選手権がありま

バドミントン部

Q. どんな大会に参加していますか。
—4月に春季北信越リーグ、5月に中部大会、8月に夏季北信越学生バドミントン選手権と西日本大会、11月は秋季北信越リーグ、12月には冬季北信越学生バドミントン選手権があります。

す。北信越の大会は、新潟で開催されることがありますが、富山や金沢で多く開かれています。間もなく8月には北信越の個人戦が行われますが、上位入賞を目指しています。また、4月の春季北信越リーグでは、2部残留格できるよう頑張りたいと思います。

北信越リーグ1部昇格目指す



- Q. バドミントン部を一言でアピールしてください。**
—1年生が元気！女子マネージャー募集中！
- Q. あなたにとつてバドミントンとは。**
—学生生活を楽しくし、充実させてくれるものです。

- ・(2012年3月14日)「広域合併と新潟市議会議員定数」新潟市議会議員定数調査特別委員会(新潟市議会)。
 - ・(2012年5月4日)「政治学の教えと阿賀野川」水俣病被害者追悼集会(阿賀野市安田公民館)。
 - ・(2012年5月25日)「無党派層と低投票率：政治家の無責任は市民の責任か」指定都市選挙管理委員会連合会通常会議講演会(ホテル日航新潟)。
 - ・(2012年6月12日)「新潟の発展と市民参加」新潟経済同友会第10回例会(ホテル日航新潟)。
 - ・「新潟日報」社外編集委員として「論説」定期連載。
- 佐々木 寛(情報文化学科・教授)**
- ・(2012年3月27日)「3・11と私たちの未来—平和研究の視点から」日韓共同理工系学部留学生対象講演会(韓国慶熙大学)。
 - ・(2011年11月~2012年3月)「平和学のすすめ」本学中央キャンパス講座(全5回)。
 - ・(2012年5月3日)コーディネーター「憲法記念日一今、日本に必要なものは何か」ナインにいがた主催(クロスバルにいがた)。
 - ・(2012年6月)本学学生による福島・宮城支援ボランティア団体「NUISプロジェクト」設立。
 - ・(2012年6月29日)「人権とは何か、暴力とは何か」坂井輪公民館人権講座(坂井輪公民館)。
 - ・(2012年7月4日)「これからの国際理解教育」新潟県国際交流協会主催「国際理解教育セミナー」(新潟県自治会館)。
 - ・東アジアの共生と新潟(インタビュー)「この人にとことん」『朝日新聞』2012年3月3日朝刊
 - ・(2012年3月)新潟で核問題を考える(講演記録)『新潟県立大学公開講座 新潟で東日本大震災を受け止める』(11~20頁)。
 - ・(2012年3月)3・11後の新しい「文明」を考える(インタビュー)『汽水域』第4号(45~48頁)。

佐々木 桐子(情報システム学科・准教授)

- ・(2012年4月26日) "Disaster Management and JIT of Automobile Supply Chain", CBS(Curtin Business School) Seminar, Curtin University, Australia.

3) 外部資金獲得研究

伊村 知子(情報システム学科・講師)

- ・(2011年4月~2014年3月)研究課題「靈長類における視覚情報の時間的統合過程に関する比較認知発達の検討」若手研究(B) (代表)。
- ・(2011年4月~2013年3月)研究課題「チンパンジーとヒトにおける質感情報処理に関する実験的検討」新学術領域研究(質感情報学・公募研究、B01「質感認知に関わる感觉情報の特徴と処理様式」)。

内田 亨(情報システム学科・教授)

- ・(2012年1月~2013年12月)研究課題「感情労働者の有効支援モデル構築」日本経営協会平成23年度経営科学研究奨励金(代表)。
- ・(2010年4月~2013年3月)研究課題「水産養殖事業のビジネスモデル構築に関する研究」挑戦的萌芽研究。

小宮山 智志(情報システム学科・准教授)

- ・(平成23・24年度)「コミュニティ協議会に対する市の支援策についての調査研究事業」新潟市8大学連携事業。

4) 講演・その他

臼井 陽一郎(情報文化学科・教授)

- ・(2012年5月)「EUの規制力をめぐって」EUSI津田塾大学主催、日本EUフレンドシップウィーク公開講座(津田塾大学)。

越智 敏夫(情報文化学科・教授)

- ・(2012年3月4日)ジェンダーで社会を考える講座「アノ日カラ1年 <3.11>は私たちをどう変えるのか・<政治・経済>若者の閉塞感はどこからくるのか」新潟市女性センター主催(アルザにいがた)。

卒業生の便り

情報システム学科 2008年度卒業 斎藤 有吾

「フットボール選手が大学の講義時間中によく馬鹿げた質問をする。それはなぜか?」3時間目のある授業で、ある先生が学生に投げかけた問いです。3時間目にとてば、昼食を食べたばかりで睡魔に襲われ、机に顔を伏せる学生が多くなった時間帯です。しかし、この質問で刺激された学生たち全員が頭を上げ、近くの学生と議論を始めました。私は自分自身の経験や知識を関連させて、なぜそういういた現象が起きるのかを説明できる仮説を考えられるだけ考えました。先生は続けました。「では、それらの複数の仮説の中での仮説がもつともらしいのかを検証するにはどうしたらよいか?」この思考のプロセスの面白さが、私の進路を決定づけました。

NUIIS 在学中の実体験は、私が

「研究」というものに生まれて初めて興味を持つきっかけであり、そして現在の研究テーマにつながる話でもあります。私は在学中の経験と、塾の非常勤講師

の経験から、教育に関する研究に非常勤講師

として、多くの学生たち全員が頭を上げ、近くの学生と議論を始めました。私は自分自身の経験や知識を関連させて、なぜそういういた現象が起きるのかを説明できる仮説を考えられるだけ考えました。先生は続けました。「では、それらの複数の仮説の中での仮説がもつともらしいのかを検証するにはどうしたらよいか?」この思考のプロセスの面白さが、私の進路を決定づけました。

今日の大規模な大学教育では、学習対象の概念を主体的に理解し、その概念を自らが既に持っている知識や経験に関連づけて学ぶなど、学生が学習内容に能動的に関与

する「深い学習」に注目が集まっています。先ほどの実体験において、仮説を考えているときのような状態は、まさに深い学習をしている状態といえるでしょう。私の研究はそのような、学習内容に対する認知的な能動性を捉える概念である「学習へのアプローチ」に注目し、その個人差や変容に影響を与える要因を量的・質的調査を合わせて実証的に検討していくことで、深い学習を促す授業づくりに有用な情報を生産することを目指しています。現在、縦断的な量的調査を進行中であり、NUIIS の先生方や学生さんに

も調査にご協力をいただきました。それ

のデータを用いて論文を書き、当該研

究分野の主要な国内・海外の学会誌に投

稿する予定です。

NUIIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキル

は今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

NUIS で身につけた、ある現象がな

ぜ起こるのかを説明する仮説を考え、そ

れらの仮説を検証するための実験を計画

し、どの仮説がもつともらしいのかを明

らかにするという問題解決のためのスキ

ルは今でも役に立っています。情報の消

費者ではなく、情報の生産者として、こ

れからも社会的意義の高い研究をしてい

ます。

きたいと考えています。

<p